

はじめに

このたび、当社の経営課題への取組みおよび事業活動の現状をわかりやすくご説明するために、ディスクロージャー誌「キャピタル損害保険の現状2021」を作成いたしました。本誌が当社をご理解いただくうえで、少しでも皆さまのお役に立てば幸いと存じます。

ごあいさつ

当社は三菱HCキャピタル株式会社と損害保険ジャパン株式会社の共同出資による損害保険会社であり、1994年の創業以来、GLTD（団体長期障害所得補償保険）を主力商品として、企業経営者ならびに従業員の皆さまに安心をお届けしてまいりました。また、現在では事業活動に伴う損害に備える保険として、取引信用保険や約定履行費用保険などを商品ラインナップに加えております。

当社の役割使命は、「企業（お客さま）を取り巻く問題の解決」への貢献、「企業の持続的な成長」をご支援するべく、「お客さま本位」で物事を判断し、当社独自の商品・サービスという「新たな価値」をお客さまに提供し、「お客さまの期待」に応え続けていくことです。すなわち、社会の課題にスポットを当て、社会問題の解決に貢献し、社会からの期待に応え続けていくことであり、「当社の企業活動はSDGsそのもの」と言えようかと思えます。

さて、今年当社は、新たに三菱HCキャピタルグループの一員として、この7月1日に

「日立キャピタル損害保険株式会社」より「キャピタル損害保険株式会社」に商号を変更しました。

新型コロナウイルスの影響により、皆さまにおかれては不安な毎日をお過ごしのことと存じます。

この状況下、当社では以下の経営ビジョンを掲げ、全役職員が力を合わせ、お客さまに「変わらない安心」をお届けすべく、この時代に適した商品・サービスの提供に創意工夫してまいります。これからもより一層、お客さまとのコミュニケーションを大切にして、お客さまと一緒に問題解決しながら成長していく所存でございますので、今後とも益々のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

キャピタル損害保険株式会社 経営ビジョン

今日の安心、明日も安心、ずっと安心 変わり続ける世界で、変わらない安心を届けたい

キャピタル損害保険は

1. どんな時も誠実に、お客様と一緒に歩み続け、かけがえのない信頼関係を築いていきます。
2. お客様のリスクに真摯に向き合い、お客様を不安から守る盾になります。
3. すべての人が安心して働ける社会づくりに貢献していきます。
4. チャレンジ精神を大切にし、すべての従業員がやりがいと誇りをもって働ける企業であり続けます。

私たちは、これからもお客様から選ばれる『オンリー^{ワン}1』の保険会社であり続けます。



キャピタル損害保険株式会社
取締役社長

淀 圭一郎

【三菱HCキャピタル】

[経営理念]

わたしたちは、アセットの潜在力を最大限に引き出し社会価値を創出することで、持続可能で豊かな未来に貢献します。

[経営ビジョン]

- ・ 地球環境に配慮し、独自性と進取性のある事業を展開することで、社会的課題を解決します。
- ・ 世界各地の多様なステークホルダーとの価値共創を通じて、持続可能な成長をめざします。
- ・ デジタル技術とデータの活用によりビジネスモデルを進化させ、企業価値の向上を図ります。
- ・ 社員一人ひとりが働きがいと誇りをもち、自由闊達で魅力ある企業文化を醸成します。
- ・ 法令等を遵守し、健全な企業経営を実践することで、社会で信頼される企業をめざします。

【2021年4月1日制定】

【キャピタル損害保険 経営ビジョン】

今日の安心、明日も安心、ずっと安心 変わり続ける世界で、変わらない安心を届けたい

キャピタル損害保険は

1. どんな時も誠実に、お客様と一緒に歩み続け、かけがえのない信頼関係を築いていきます。
2. お客様のリスクに真摯に向き合い、お客様を不安から守る盾になります。
3. すべての人が安心して働ける社会づくりに貢献していきます。
4. チャレンジ精神を大切にし、すべての従業員がやりがいと誇りをもって働ける企業であり続けます。

私たちは、これからもお客様から選ばれる『オンリー^{ワン}1』の保険会社であり続けます。

【2020年4月1日制定】

CONTENTS

経営の基本方針	1
プロフィール	3
代表的な経営指標	4
1. 会社の業務内容と運営	
■ 主要な業務	6
■ 取扱商品	6
■ お客さまサービス	7
■ お客さま本位の業務運営方針	7
■ お客さまの声を業務の改善に活かす取組み	8
■ 保険の仕組み	10
■ 約款その他について	10
■ 保険の募集	11
■ 保険料	12
■ 保険金のお支払い（LTD、火災・地震保険の場合）	12
■ コーポレート・ガバナンス体制	13
■ 内部統制システムの構築と運用状況	14
■ コンプライアンス（法令等の遵守）への取組み	15
■ 個人情報保護宣言「個人情報保護に関する基本方針」	17
■ 利益相反管理方針	21
■ 反社会的勢力への対応に関する基本方針	21
■ 戦略的リスク管理経営（ERM）	22
■ 健全な保険数理に基づく責任準備金の確認についての合理性および妥当性	23
2. 会社の主要な業務に関する事項	
■ 2020年度の事業の概況	25
■ 主要な業務の状況を示す指標の推移	25
■ 業務の状況を示す指標および保険契約に関する指標	26
■ 経理に関する指標	29
■ 資産運用に関する指標	32
■ 特別勘定に関する指標	36
■ 責任準備金の残高	36
■ 期首時点支払備金（見積り額）の当期末状況（ラン・オフ・リザルト）	36
■ 事故発生からの期間経過に伴う最終損害見積り額の推移表	36
3. 財産の状況	
■ 計算書類	38
■ リスク管理債権	46
■ 元本補てん契約のある信託に係る貸出金の状況（保険金信託業務を行う場合）	46
■ 債務者区分に基づいて区分された債権	46
■ ソルベンシー・マージン比率	47
■ 時価情報等	48
■ 備考	49
■ 財務諸表の適正性および財務諸表作成に係る内部監査の有効性について	49
4. 会社の概況と組織	
■ 組織	51
■ 株主・株式の状況	52
■ 役員の状況	54
■ 従業員の状況	56

※本誌は、保険業法第111条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
※本誌記載の金額や件数などの値は記載単位未満を切り捨てて表示し、増減率等の比率は小数点第2位を四捨五入し小数点第1位まで表示しています。

プロフィール

当社の概要	設立	1994年6月
	資本金	62億円
	総資産	186億円（※1）
	本社所在地	東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル
	取締役社長	淀 圭二郎
	従業員	89名
	代理店数	166店（※1）
	株主	三菱HCキャピタル株式会社（保有割合79.4%） 損害保険ジャパン株式会社（保有割合20.6%）
	格付	「A ⁻ 」 スタンダード&プアーズ：保険財務力格付※2 「AA」 日本格付研究所：保険金支払能力格付※3

（2021年7月1日現在）

※1 2021年3月31日現在で記載しています。

※2 当社は、当社の保険契約の規定に従い、当社が保険金受取人に対して保険金支払債務を履行することにつき、条件を付すことのない保証の形で、親会社である三菱HCキャピタルから明示的な支援を受けております。上記を反映し、当社は、スタンダード&プアーズ社（S&P）より、A⁻の格付けを取得しております。

※3 三菱HCキャピタル株式会社保証

当社の沿革

1994年	6月	ユナム・コーポレーション（本社：米国メーン州）の100%出資によりユナム・ジャパン傷害保険株式会社設立
	7月	損害保険事業免許および「団体長期障害所得補償保険」（GLTD）等の商品認可を取得し創業
1999年	6月	親会社のユナム・コーポレーションがプロヴィデント・カンパニーズ（本社：米国テネシー州）と合併してユナム・プロヴィデント・コーポレーションとなる
	7月	個人向けのLTDとして新たに「長期就業不能所得補償保険」（PLTD）を開発し発売
2004年	1月	発行済株式の100%を日立キャピタル株式会社（現 三菱HCキャピタル株式会社）が取得し、日立キャピタルグループ（現 三菱HCキャピタルグループ）の一員となる
	4月	社名を日立キャピタル損害保険株式会社（現 キャピタル損害保険株式会社）に変更し新たに住宅ローン利用者専用の住宅火災保険「しあわせマイホーム」を商品ラインナップに追加し発売 日立キャピタル株式会社（現 三菱HCキャピタル株式会社）が株式会社損害保険ジャパン（現 損害保険ジャパン株式会社）に対し保有株式の一部（35%）を譲渡
	9月	スタンダード&プアーズ社より保険財務力格付「A ⁻ 」を取得
2007年	1月	取引信用保険の商品認可を取得
	12月	取引信用保険の引受を開始
2008年	1月	財務基盤の強化を目的とした増資を実施、資本金51億5,250万円となる
	3月	事業拡大を目的とした増資を実施、資本金62億円となる
	12月	「保証機関連型信用保険」、「費用・利益保険（残価補償保険）」の商品認可を取得
2010年	10月	職種別であった「長期就業不能所得補償保険」（PLTD）の料率を一本化した「リビングエール」を発売
2013年	4月	約定履行費用保険の商品認可を取得
2016年	5月	日本格付研究所より、保険金支払能力格付「AA ⁻ 」を取得
2017年	3月	「がんのみ補償特約付就業継続支援保険」を開発し発売
2018年	7月	企業向け「がんのみ補償特約付就業継続支援保険」を開発し発売
2019年	7月	GLTD「介護休業補償特約」を開発し発売
2020年	10月	GLTD「葬祭費用等補償特約」を開発し発売
2021年	4月	日立キャピタル株式会社と三菱UFJリース株式会社の経営統合に伴い、三菱HCキャピタルグループの一員となる GLTD「支払対象外期間一部復職補償特約（三大疾病）」を開発し発売
	7月	社名をキャピタル損害保険株式会社に変更 ドクター長期収入補償保険「事業主費用補償特約」を開発し発売

代表的な経営指標

2020年度における当社の代表的な経営指標は以下のとおりです。

正味収入保険料	5,380百万円	前期比10.2%の増収となりました。
正味損害率	31.7%	前期と横這いになりました。
正味事業費率	45.8%	前期比4.4ポイント低下しました。
保険引受利益	△9百万円	前期比130百万円の増益となりました。
経常利益	23百万円	前期比127百万円の増益となりました。
当期純利益	7百万円	前期比73百万円の増益となりました。
ソルベンシー・マージン比率	2,360.6%	前期比167.0ポイント低下しました。
総資産額	18,635百万円	前期比1,369百万円増加しました。
純資産額	6,937百万円	前期比4百万円減少しました。
その他有価証券評価差額金	△20百万円	前期比12百万円減少しました。

■ 用語の解説

正味収入保険料	元受保険料および受再保険料収入から再保険料、解約等の返戻金を控除した保険料をいいます。 正味収入保険料＝元受正味保険料＋受再正味保険料－出再正味保険料
正味損害率	保険料に対する支払った保険金の割合のことで、損益計算書上の「正味支払保険金」に「損害調査費」を加え「正味収入保険料」で除した割合になります。 正味損害率（％）＝（正味支払保険金＋損害調査費）÷正味収入保険料×100
正味事業費率	保険料に対する事業費の割合のことで、損益計算書上の「諸手数料及び集金費」に「営業費及び一般管理費」のうち保険引受に係る金額を加えたものを「正味収入保険料」で除した割合になります。 正味事業費率（％）＝（諸手数料及び集金費＋保険引受に係る営業費及び一般管理費）÷正味収入保険料×100
保険引受利益	保険料等の保険引受収益から、保険金や損害調査費等の保険引受費用と、保険引受に係る営業費及び一般管理費を控除し、その他収支を加減したものをいいます。 保険引受利益＝保険引受収益－保険引受費用－保険引受に係る営業費及び一般管理費±その他収支
経常利益	保険料や利息及び配当金収入等の経常収益から、保険金や営業費及び一般管理費等の経常費用を控除したものをいいます。
当期純利益	経常利益に特別損益、法人税及び住民税、法人税等調整額を加減して算出した最終損益をいいます。
ソルベンシー・マージン比率	巨大災害の発生や、保有資産の大幅な価格下落等の「通常の予測を超える危険」に対する「資本金、準備金等保険会社が保有する支払余力」の割合をいい、経営の健全性を測る指標の1つです。
総資産額	会社が保有する資産の総額で、貸借対照表上の「資産の部合計」になります。
純資産額	会社が保有する資産の総額である「総資産額」から負債額を控除したもので、会社の担保力を示すものです。貸借対照表上の「純資産の部合計」になります。
その他有価証券評価差額金	「金融商品に係る会計基準（いわゆる時価会計）」により、有価証券等を売買目的、満期保有目的、その他有価証券等の保有目的別に分類します。その他有価証券評価差額金は、その他有価証券の時価と取得原価の差額（いわゆる含み損益）から法人税等相当額を控除したものです。